

「土壌の物理性」の電子ジャーナル化の検討について（再掲）

— 意見募集期間を延長しました —

昨今のインターネットの普及にともなって、国内外の著名な雑誌は電子ジャーナルに移行しつつあります。電子ジャーナル化することにより、インターネット上での検索にヒットしやすくなること、動画やエレクトリックサプリメントを論文につけられること、印刷経費や送料を大幅に節約できること、本棚のスペースに余裕ができることなどのメリットがあります。その一方で従来のページをめくる楽しみが失われるデメリットもあります。しかしながら、学会費だけで運営されている当学会の財政状態を分析するとその大部分を印刷経費が占めているのが現状です。このままでは今後会員を増やし、大幅な会費収入が見込めない限り、学会運営そのものが破綻をきたす恐れもあります。こうした背景を考慮して、10月25日の評議員会および26日の総会では「土壌の物理性の電子ジャーナル化」について会員諸氏から意見を聴取し、その意見に基づいて電子ジャーナル化の可能性を検討することになりました。従来通り冊子体を希望する場合には、オプションとして印刷サービスを導入することなども考えられます。

会員諸氏におかれましては本学会の現状をご理解の上、「土壌の物理性」の電子ジャーナル化に関するご意見をお寄せくださいますようお願い致します。

宛先： 土壌物理学学会編集委員会 編集委員長 取出伸夫 宛

方法： （電子メール）E-mail: [kibyosi\[at\]ml.affrc.go.jp](mailto:kibyosi[at]ml.affrc.go.jp)

（Web 問い合わせ）<https://js-soilphysics.com/contacts>

締切： 2014年4月30日 （延長しました）

なお、今月号の「解説：放射性物質問題 — 土壌物理に求められること —」の電子版では試験的に各所に動画へのリンクが付けられています。電子ジャーナル化の可能性を考える参考にしてください。

土壌物理学会ホームページの活用について

2013年5月に土壌物理学会のホームページがリニューアルオープンしました。新しいホームページでは、学会事務局からのNEWSや論文等のダウンロードのサービスを利用できます。現在、学会NEWSや解説等の記事は会員・非会員にかかわらず、等しく学会サービスを利用できますが、最新1年間の論文に関しては会員のみが閲覧できます。会員サービスを最大限に利用するためにはホームページにログインすることが必要になります。学会員の皆様におかれましては学会誌が送付される際の宛名の下に印刷された「会員番号」を大切に保管の上、できるだけ速やかにログインできることをご確認くださいようお願い致します。

なお、会員番号を忘れた場合でも学会のホームページにアクセスしEmailアドレスを入力すれば自分の会員番号を確認できますが、学会会員名簿に登録されているEmailアドレスが正しくない場合には再通知されません。その場合にはホームページ右上の「お問い合わせ」からその旨お知らせください。

また、ホームページの利用法に関してご意見・ご提案があれば、同様に「お問い合わせ」からお知らせください。



<http://js-soilphysics.com/>

2014 年度土壤物理学会のお知らせ

2014 年度の土壤物理学会を下記の日程で開催します。今年は昨年の放射性物質問題に引き続き、東日本大震災からの復興に関するテーマとして海水を被った農地の除塩問題を取りあげたいと考えています。奮ってご参加ください。

記

日時：2014 年 10 月 25 ～ 26 日（土曜日・日曜日）

場所：宮城大学食産業学部

（10 月 25 日）

シンポジウム：土壤の塩類問題や除塩に関する内容（予定）

ポスターセッション：「塩類問題：農地復旧の土壤物理（仮）」および「土壤物理の最前線」

企業展示：

（10 月 26 日）

エクスカージョン：津波被災農地の復旧現場（予定）

なお、前日の 10 月 24 日（金）午後には農業農村工学会土壤物理部会研究集会が仙台市内で予定されております。

以上